

## 八戸市図書館運営方針(一次案)に係るパブリックコメント結果

1. 実施期間:令和5年12月25日(月)～令和6年1月23日(火)の30日間

2. 意見投稿数:20件(提出者3名)

3. 意見の内容及び八戸市図書館の考え方

提出者	No.	意見内容	八戸市図書館の考え方
A	1	一番の望みは「本のまち八戸」にふさわしい図書館の建て替えです。十和田市の市民図書館のような図書館だったらどんなに良いだろうといつも思います。八戸市はスポーツ関連施設を十分に作ったと思いますので、修繕・改修の次は文化面の方にも予算を使っていただけると嬉しく思います。	「基本方針2」の「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」の中で、施設設備の改修を進めることと施設設備の在り方の検討を続ける旨を記載しており、将来の建て替えも見据え検討して参ります。
	2	ハード面の実現は難しいと思うので、ソフト面の意見・要望は以下になります。 ・本を読む人はある程度限定されているので、本好きな市民以外にも訪れる工夫を！ ・不特定多数の人が来る図書館・滞在したくなる図書館を目指す。  ・誰でも本を楽しめる環境を(子どもから高齢者、視覚障害者、車椅子利用者など)	「IV目指す将来像」の「2基本理念」に人々が自由に集い、情報と人とがつながり、人と人とのつながりを生み出し、未来を担う子どもたちを育み、生涯にわたって活用され楽しめる図書館、情報を介しプラットフォームのような図書館を目指すこととしており、不特定多数の多様な人々が集い、利用できる図書館を目指すことを記載しています。今後、このような理念の具体化を目指し、多様な方が来館できるよう図書館運営に取り組むこととしています。  「基本方針2誰もが利用できる図書館」において、年齢や障がいの有無に関わらず誰もが利用できる環境を整備する旨を記載しております。
	3	1:講演、イベントの開催 2:ブックセンターとコラボ企画 3:10代むけの本のコーナーを設置し若年層の本好きを増やす。 4:カフェの併設、飲食持ち込みOKスペースの新設 5:広場、公園のように憩う待ち合わせをする空間に(建て直す場合) 6:SNSの開設(新刊紹介、イベント告知、カフェの新メニューなど) 7:視覚障害・高齢者のための録音図書の充実  ※1と2は本や文化に関わるテーマだけでなく、様々な層の関心が高いテーマを取り上げ、ターゲットを広げてほしいです。 ※7の録音図書は、本を音楽のように聞きたいと思っている人がいると思います。	前述(No.2)のご意見を具体化した事業内容を記載いただいたものと考えます。 1については、「基本方針1」「基本方針3」「基本方針4」の各施策の中で、様々な講座やイベントを実施することとしています。 2については「基本方針1」の(6)においてブックセンターとの連携をうたっており、積極的に推進して参ります。 1、2ともにテーマの設定の際には市民の皆様の関心の高いテーマとなるよう配慮します。 3については、すでに図書館内にティーンズコーナーを設置しているほか、「基本方針1」の「基本施策(3)子どもの読書活動の推進」の「主な取組」として中高生等ティーンズ向けを含め成長に応じた段階の本の整備をすること等を記載しており、今後も若年層に向けた事業について検討して参ります。 4及び5のカフェや飲食可能なスペース及び広場、公園のように憩う待ち合わせ空間については「基本方針2」「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」の中で記載している今後の施設設備の在り方の検討のテーマの一つと考えております。 6については、「基本方針3」の「基本施策(4)多様な情報媒体の活用」の「主な取組」でSNSの活用について取り上げており、今後、活用を推進して参ります。 7については、「基本方針2誰もが利用できる図書館」の中で、それぞれに応じたサービスの充実とデジタル化による対応を記載しており、多様なサービスの一つとして検討して参ります。

提出者	No.	意見内容	八戸市図書館の考え方
B	4	<p>喫茶店が入ったらうれしい。  →学生が喫茶店フードコートで勉強している。学校もバス通学の生徒もいるので本館にあったら便利  →お年寄りの食事、引きこもり対策に  →月1回位、共通の本または作家でお茶を飲みながら、会話できるイベントを会議室などで開催したらどうか？  似たことをブックセンターでやっているが、ブックセンターは、おしゃれすぎるし、駐車場もないので参加しにくい。</p>	<p>喫茶店等飲食可能な施設整備については、「基本方針2」の「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」に記載の施設設備の在り方の検討のテーマの一つと考えています。  本に関するお茶を飲みながら会話できるイベントについては今後の事業の参考とさせていただきます。</p>
	5	<p>ブックスタート事業に追加  →乳幼児を短時間あずかる託児室を設ける。親が一息ついて自分の本や子どもの本を選べるようにする。</p>	<p>ブックスタート事業は現在、健診センターでの股関節脱臼検診時に実施しており、託児室を設置することはできないものです。  なお、図書館施設での託児室の設置については、現在の施設では施設のスペース並びに職員配置の問題から困難な状況がありますが、今後の施設設備の在り方の検討の際には調査・検討が必要と考えます。</p>
	6	<p>セルフ貸出機には、賛成</p>	<p>—————</p>
	7	<p>インターネット予約システムの勉強会を開いてほしい。  →ホームページの説明が分かりにくい。予約できる本を《○》などわかりやすく表示してほしい。取り消しが電話でしかできないのを解消しないと、職員さんが大変だと思う。</p>	<p>予約システム等ご不明な点のお問合せには個別に対応しております。  予約システムのホームページ上の説明が分かりにくい点については、今後、システム更新に合わせて分かりやすく使いやすいものに改善して参ります。</p>
	8	<p>読み聞かせボランティアに、保育科を専攻している大学生など若い方にも参加してもらってはどうか？</p>	<p>「基本方針1」の「基本施策(4)ボランティアとの連携」の「主な取組」に記載の「読み聞かせボランティアの育成」の事業において、講座開催の周知を学生等へも広く行うなど、事業の実施にあたって検討して参ります。</p>
	9	<p>館鼻公園で行っている「みなと図書館」みたいなボランティア参加型のスペースを設ける  →元気なシニアの健康維持、社会参加の場になる。</p>	<p>図書館施設内にボランティア等市民が自由に参加・利用し、かつ声出し可能なスペースを設けることは現状の図書館施設では難しいと考えていますが、将来の施設の在り方を検討する際のアイデアの一つとなると考えます。</p>
	10	<p>返却場所が図書館だけでなく「はっち」でも可能なように、インターネットで予約したものを「はっち」や「公民館」で借りられるようになったら便利。もしくは、バスで図書館に行き、本を借りて帰り重くて持ち帰りが大変な時の為に、最寄りの公民館まで届けるサービスを開始する。  →高齢化社会で、免許返納を促したいなら、不便を解消すべき。</p>	<p>「基本方針2」の「基本施策(2)高齢者や障がい者等へのサービスの充実」の中で、図書館以外での予約本の受取・返却の方法を検討することとしており、電子書籍の導入の検討や分室の運営方法及び利活用の検討とともに、住む場所に関わらず、誰もが利用しやすい図書館を実現するため、具体的な方策を検討して参ります。</p>
	11	<p>建物が古くて、トイレが不便だったり、椅子が汚いなどがある。五戸の図書館は、椅子も綺麗で配置もおしゃれである。本を借りなくても、また行きたいと思うような建物です。窓から見える景色も良い。  八戸の図書館もゆりの木通りの庭木をもっと手入れして、風景をよくしてほしい。</p>	<p>施設設備の老朽化問題については、施設計画に基づき、計画的に対応を進めて参ります。また、将来の施設設備の在り方については「基本方針2」の「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」に記載のとおり、今後、検討して参ります。  なお、「ゆりの木通りの庭木」は長者緑地(公園)の木のことと思われるので、担当課(公園緑地課)へご要望をお伝えします。</p>
	12	<p>将来的に、隣の公民館と図書館を合同の建物にして建て替えるのはどうか？  公民館には、調理室などがあるので、「図書館の企画展で展示した料理本」の郷土料理教室を隣の公民館で開催するなど、公共施設の利用活性化につながるように。  公民館で開催する「ヨガ」「あみもの教室」などに通う人が、次のステップの本を借りられる利便性を提供できる。</p>	<p>今後、将来の図書館の在り方を検討していく中で、図書館の建て替えについても将来的には検討していくことになると考えており、その際に建設場所や手法等も検討していかなければならないものと考えています。  長者公民館との複合施設化については公民館の講座との連携も含めて建て替えに向けてのご意見として承ります。</p>

提出者	No.	意見内容	八戸市図書館の考え方
B	13	電子書籍は、若い人に必要かアンケートとった方がよい。 ※機械にうとい年配者が便利な機能を使いこなせるように、セルフ貸出機や電子書籍を導入するなら、講習会をこまめにやってほしい。インターネット予約も、カードを作成時に仮パスワードの用紙をわたされただけで使ったら便利なのかもしれないが、やってない人が多そうだ。	電子書籍やセルフ貸出機の導入にあたっては、メリット、デメリットについて十分に検討し、必要があれば、若者も含めた市民への調査を実施したいと考えております。 さらに導入の際には、利用方法等について十分な周知を実施します。インターネット予約についても、利用希望者にはさらに丁寧な説明をして参ります。
	14	本屋さんで本を購入するひとが減少している中、図書館へ足を運んでもらうためには、本が目的でなくても良いと思う。 待ち合わせや勉強など、自宅以外でのくつろぎの場を提供し、そこに本が置いてあり、「本のまち八戸」として本にあまり興味がない人にも利用してもらい、その人の可能性が広がっていく図書館になれば良いと思います。	本運営方針においても、基本理念に記載のとおり、多様な人が自由に集い、活用される図書館を目指しています。 くつろぎの場の提供についてもアンケートでも要望が多く、今後の施設設備の検討のポイントの一つと考えています。
	15	本のリクエストができることをもっとアピールする。 本の貸出の時、リクエスト用紙を配るなど。	図書購入の予算の問題もあり、一人年間10冊までとしておりますが、リクエストが可能であることの周知については、検討して参ります。
	16	建替えするなら、ミニシアタールームも作ってほしい。「映画の原作本」などを企画した時に使えるのでは？	「基本方針2」の「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」の項目において、将来の建て替えも見据え、施設設備の在り方の検討を続けることとしており、その際のご要望の一つとして承ります。
C	17	館内でのコンピューター持ち込みスペースの提供 ネットの情報と合わせて、図書館で本を探したり、調べものができる場所として、市民が図書館を利用できるような場所を確保してもらえないでしょうか。国内外の他の図書館などを見ても、電源の利用ができるデスクや視聴覚資料をヘッドフォンなどを使って鑑賞できるスペース(多少の音が出ても許容される場所)があっても良いのではないかと考えています。	現在、電源の利用ができるパソコン持ち込みスペースは2階フロアで4台分提供しております。また、ヘッドフォンで視聴覚資料を聞くことができるスペースも1階に2箇所あります。  多少音が出て良いスペースの設置は静かなスペースとの区分が必要となりますが、スペースの確保や改修工事が必要となることから、現状の施設での設置はかなり困難と考えられます。 しかしながら「基本方針2」の「基本施策(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進」に記載の施設設備の在り方を検討する際には、要検討事項と認識しています。
	18	本の予約・リクエストのオンライン化 現状、すでに貸し出されている本だけ予約できるシステムになっていますが、南郷や八戸駅などの別館の蔵書を取り寄せたり、本をリクエストする際には、図書館まで行き、逐一紙に記入して受付へ提出する必要があります。私が書式に書いた内容をスタッフの方がコンピューターに入力している現状をみると本当に無駄であると感じます。時間と手間を省くためにも、これらの作業をオンラインで完結できるようにしてください。	図書館システムの更新にあたって、予約システムの不便さを解消するよう検討中で、リクエストのオンライン化については、今後検討して参ります。
	19	市内に貸出・返却のできるスポットを複数設ける 個人的には市立図書館本館が家から近いので必要ありませんが、市内に何ヶ所か自動貸出・返却機を導入、設置すれば、ネットから図書を予約して、何時でも貸出・返却ができ、より多くの利用者が増えるのではないかと思います。	「基本方針2」の「基本施策(2)高齢者や障がい者等へのサービスの充実」の中で、図書館以外での予約本の受取・返却の方法を検討することとしており、電子書籍の導入の検討や分室の運営方法及び利活用の検討とともに、住む場所に関わらず、誰もが利用しやすい図書館を実現するため、具体的な方策を検討して参ります。
20	時代にマッチした企画を立案できるスタッフ 図書館は本来イベントのスペースではないことは理解していますが、本に関連した催しを増やして欲しいです。幅広い世代に訴求するために、今の時代や八戸という場所にマッチした企画を立案するスタッフを採用してほしいです。	本に関連した催しについては、今後の事業の課題のひとつと考えます。当市図書館の特徴を生かした事業の実施やレファレンスサービス、時代や地域にあった事業などに対応するため、職員の専門性やスキルの向上を図っていくことは重要であると考えており、今後は、さらに研修に力を入れ、人材育成を図って参ります。	